

シリーズ③ふるさと 笠間に生きる

かさま市民力

このコーナーでは、市民の皆さんが自らの活動で地域貢献している団体等を紹介し、掲載を希望する団体は市民活動課へご連絡ください。



特別出演の子どもと協力スタッフと共に



市原裕子さん (会長) よい

私の心のふるさととは、祖父母にせがんで聞いた「だいだらぼう」や「仏教説話」であり、押入れの中で読んだ本の世界です。願いは、仲間と共に、朗読の多くのジャンルに挑戦しながら、聞いてくださる皆さまに、楽しんでいただくことです。

大切なものはと問われれば、「いのちと家族」と答えます。命を軽視した事件が続く昨今、命の尊厳と平和への思いを伝え続ける、まゆみ朗読会でありたいと思っております。

耳を通して お話の感動を共有する

随筆、民話、物語、詩、手紙などで、ファンタジックステージを企画し公開しています。最近では、リピーターが増えています。県立東養護学校、リハビリセンター、日動美術館などからの依頼も定期的にあり、反応も好意的で、会員の自信に繋がっております。平成 21 年度は、スカイロッジで笠間観光協会との共催により 5 回のステージを行います。ところで、折り鶴をデザインしたポスターをご覧になったことがあるでしょうか？ これは、朗読劇「遺されしものの想い」のもので、平成 20 年度にまちづくり市民活動助成金を受けて上演し、一応の評価を得たものです。今年は 8 月 9 日に子どもたちの応援を得て上演予定です。皆さまにお越しいただければ幸いです。

■ まゆみ朗読会 ■

代表者：市原 裕子（平町）

設 立：平成9年

会 員：13人



朗読劇 この子たちの夏
あなたはもう帰ってこない



向田邦子「食」へのまなざし
向田邦子の食に寄せる感性の鋭さに脱帽！！



ファンタジックステージ ー心に届ける手紙ー
日立・メイプルカフェにて
懐かしくときに哀しく響く言葉、て・が・み



朗読劇 遺されしものの想い
非戦闘員の子を奪われた母の嘆き